

令和7年度 共同生活援助事業所ホームやまびこ事業実績報告

1. 事業概要

自立した生活を送るため、安全で安心な生活環境を提供する事を基本に、利用者個人の人格と尊厳を守り、各種支援サービスの充実に努めました。また、地域に根ざした事業所づくりに努め、第一回地域連携推進会議を開催し、ご意見等をいただきました。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の動向を注視し、各感染症予防対策をとりながら活動の機会を増やしてきました。

また、利用者が家庭的な雰囲気のもとに毎日楽しく充実した生活ができるよう買物支援、外出支援や余暇支援、洗濯、清掃支援、料理実習など、利用者一人ひとりに寄り添った支援に努めました。「やまびこ祭」や跡江の杜はんぴどんとの「合同忘年会」を実施し、保護者や職員と交流できる機会ができました。

2. 事業内容

(1) 人権尊重と利用者の意思決定支援の充実

- 1) 常に利用者の人権を尊重し、利用者一人ひとりの障害の程度を踏まえ、利用者の立場に立ち、利用者主体の支援サービスに努めました。
- 2) 相談支援事業所と連携し、個別支援計画の実施にあたり、半年に1回以上のモニタリングを行い、支援サービスの実施状況の確認・見直しを行うことで、個別支援計画に沿った支援の徹底に努めました。また、支援状況についての説明を利用者、保護者に行いました。

(2) 利用者への虐待防止の徹底

- 1) やまびこの里、跡江の杜はんぴどんと合同で虐待防止委員会・身体拘束適正化検討委員会を年3回開催し、虐待防止の徹底と情報の共有を図りました。
- 2) ホーム会議・世話人会等において、虐待防止に関する研修や業務の振り返りチェックと不適切行為防止チェックリストを活用した検証を年3回行い、状況の把握と虐待に対する意識改革や虐待防止の取組みに努めました。

(3) 地域支援サービスの充実と関係事業所との連携

- 1) 季節感のある行事（母の日、父の日、十五夜、クリスマス、初詣、節分等）を取り入れ、家庭的な雰囲気づくりに心がけ、利用者主体の支援サービスに努めました。
- 2) 地域生活者としての基盤づくりとして、利用者の状況や障がい特性を踏まえながら生活活動を各ホーム計画的に実施し、地域への理解と共生社会の実現に努めました。

- 3) 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染症の予防対策を十分に行い、利用者それぞれの希望を尊重したうえで、行事やレクリエーション、ホーム別外出、単独外出、外部ヘルパーを利用した外出等を実施し、休日や余暇時間等を楽しめるよう支援に努めました。
- 4) 「やまびこ祭」を外で、数年ぶりに実施しました。また、跡江の杜はんびどんと合同で「忘年会」を実施し、保護者や職員と交流ができました。
- 5) 日中活動支援事業所や就労先での活動状況やホームでの生活状況を相互に情報を共有することで、統一した支援サービスの実施に努めました。

(4) サービスの質の向上

- 1) 利用者、家族等からの相談（意見や要望、苦情等）には受付けした職員、苦情受付担当者、苦情解決責任者が速やかに対応し、第三者委員と連携を図り、利用者が安心して生活できる環境づくりとサービスの質の向上に努めました。
- 2) 第三者委員会を年2回開催し、利用者、家族等から相談のあった内容や処理経過等の報告を行い、苦情等の改善に努めました。
- 3) 職員や世話人へ過去の行動や支援業務を振り返るためのチェックシートによるアンケート調査を年3回行い、日常の業務と利用者に対する支援状況を検証し、今後のサービスの向上に努めました。
- 4) ホーム会議、世話人会を月一回実施し、利用者の健康状況等を確認し情報共有を図りました。

(5) 人材育成の推進と接遇マナーの徹底

- 1) 法人が目指す人材像実現のため、法人全体で人材の育成に努めました。
- 2) 外部研修は新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の予防対策として、オンライン等による研修を活用しながら、専門的な知識と経験を兼ね備えた福祉人材の育成に努めました。
- 3) 利用者、家族、地域住民等に対する接遇マナーの徹底を図りました。

(6) 健康・衛生・栄養管理の充実

- 1) 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等に対する意識を更に高めるため、ガウンテクニックの研修を実施しました。また、毎日の手指消毒や検温、室内の換気等の徹底を図り感染予防に努めました。利用者の健康、衛生面に留意し、ホーム日誌の充実を図り、看護師と世話人との情報共有に努め、毎日の健康管理を行うとともに、利用者の体力維持、増進に努めました。
- 2) 看護師と医療機関、日中活動支援事業所等との連携を図り、急病や怪我等に迅速に対応できる支援に努めました。異常時には、早期に通院等の対応をしました。
- 3) 定期健診や生活習慣病予防健診等を実施し、利用者の健康管理の徹底に努めました。健診結果については、保護者への情報提供及び治療方針について、意見交換を行いました。

- 4) 利用者の食事摂取状況や体重変化、体調、嗜好などに配慮した食事の提供と四季折々の行事食を取り入れ、季節感あふれる食事づくりに努めました。
 - 5) 家族の居宅等に帰省する際には、家族との連絡調整を図り、帰省中の生活状況の把握に努めました。
- (7) 事故防止と防犯・防災対策の徹底
- 1) 事故報告やヒヤリハット等の事例を世話人会やホーム会議等で検証し、利用者の事故防止と安全対策の徹底に努めました。
 - 2) 利用者が安心・安全に生活ができる環境を提供するために、各ホーム内外の環境整備や安全点検と補修、改善に努めました。また火災や地震、浸水被害等を想定した避難訓練を計画的に毎月実施しました。
 - 3) 防災委員会に参加し、BCPについて、職員、世話人に周知を行いました。
- (8) 第1ホームやまびこの休止
- 1) 県道宮崎須木線岩知野地区の歩道整備事業に伴い、第1ホームやまびこを休止し、利用者3名は、令和7年4月に第4ホームに転居しました。令和7年12月には、第1ホームの建物を解体しました。

3. 事業実施状況

(1) グループホーム（令和8年3月31日現在）

グループホーム名	定 員	入居利用者数	備 考
第2ホームやまびこ	男性 4名	3名	法人所有
第3ホームやまびこ	男性 4名	3名	法人所有
第4ホームやまびこ	女性 5名	4名	法人所有

(2) 利用者の主な日中活動（令和8年3月31日現在）

日中活動の場	人 数	備 考
一 般 就 労	3名	(有) 平和食品工業 コルディアアーレ農園
跡江の杜はんぴどん 生活介護	2名	食品（千切り大根）ほぐし・袋詰め 健脚等
跡江の杜はんぴどん 就労継続支援B型	4名	農産物出荷箱作り 自動車部品の組立作業 施設外就労（JA 宮崎中央総合選果場）
就労継続支援 B型事業所	1名	あうる （部品作業、しいたけのヘタ取り等）

(3) 年間行事・活動実績

月	行 事 ・ 活 動 等
4月	・火災想定避難訓練・胸部X線検査・採血・検尿・誕生日外出 ・引っ越し・ヘルパー外出・誕生日外出・買物外出・整容外出・余暇外出・定期通院
5月	・地震想定避難訓練・ゴールデンウィーク帰省・残留利用者外出・誕生日外出 ・母の日プレゼント・自転車外出・ヘルパー外出・整容外出・余暇外出 ・定期通院・春のレクリエーション
6月	・地震想定避難訓練・衣替え・整容外出・買物外出・成人施設親善球技大会 ・余暇外出・ヘルパー外出・井上病院定期診察・父の日プレゼント・定期通院
7月	・整容外出・火災・地震想定避難訓練・七夕行事・誕生日外出・ドライブ外出 ・ケース会議・ヘルパー外出・買物外出・定期通院・余暇外出・誕生日外出
8月	・採血・採尿検査・地震・火災想定避難訓練・整容外出・誕生日外出・買物外出 ・余暇外出・コロナ感染対応・定期通院・心電図検査・整容支援・ヘルパー外出
9月	・整容外出・買物外出・余暇外出・十五夜行事・誕生日外出・ヘルパー外出 ・定期診察・心電図検査・内科健診・定期通院
10月	・整容外出・地震想定避難訓練・誕生日外出・美容室外出・買物外出・ヘルパー外出 ・定期通院・採血・採尿・インフルエンザ予防接種・秋のレクリエーション
11月	・整容外出・やまびこ祭・地震・水害想定避難訓練・総合防災訓練・定期通院 ・買物外出・ヘルパー外出・誕生日外出・余暇外出・生目地区総合文化祭参加
12月	・整容外出・水害想定避難訓練・クリスマス行事・合同忘年会（国富）・大掃除 ・定期通院・買物外出・余暇外出・ヘルパー外出・井上病院定期診察 ・年末年始帰省者対応
1月	・初詣・火災想定避難訓練・整容外出・外出支援・定期通院・ヘルパー外出・買物外出 ・選挙外出
2月	・火災想定避難訓練・内科健診用採血・採尿・胸囲測定・節分行事 ・バレンタインデー行事・整容外出・ヘルパー外出・買物外出・余暇外出・選挙外出 ・定期通院
3月	・地域連携推進会議・地震想定避難訓練・ひな祭り行事・井上病院定期診察・内科健診 ・ヘルパー外出・買物外出・定期通院・整容外出・余暇外出・ホワイトデー行事

(4) 事故・ヒヤリハット・相談苦情実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故報告	1		1	1	3	1				1			8
ヒヤリハット	1		2			2		1					6
相談・苦情								1	2				3

(事故報告)

内容 夕食後の服薬の際、他の利用者の薬を間違えて服薬した。

再発防止策 服薬する際の名前の確認等声を出して行うことを再度確認。

(ヒヤリハット)

内容 利用者1週間分の服薬がホームに届いてなかった。

再発防止策 確認が不十分であったことを踏まえ、確認方法を再度見直した。

(相談・苦情)

内容 利用者のご家族から、利用者自身から「いじめられている」との訴えを聞きました。ホーム生活の中で、特定の利用者とのかわりから不安や負担を感じていたと受け止めました。

対応 利用者の気持ちを大切にしながら無理のない環境調整を行い、使用者の嫌だったという気持ちを大切に受け止め、支援します。